

オペラ 〈Halka〉

Opera “Halka”

横川 美智子

「亜麻色の髪の乙女」という副題をもつオペラ、〈Halka〉は、1700年のポーランドの農村を舞台にした物語りである。

台本は、カジーミェシュ・ヴラディスラウ・ヴォイチッキの民話〈ゴラルカ〉を元にして、ヴロディミエルシュ・ヴォルキのまとめた2幕からなるものに、スタニスラフ・モニューシュコにより作曲され、1848年1月1日にヴィルノで初演されたオペラである。その後、これを改訂して4幕とし、バレエ場面などが加えられ、10年後の1858年1月1日にワルシャワで再演され、現在では、この4幕版が流布されている。

(1) 作曲者と歴史的背景

作曲家、^{スタニスラフ} Stanislaw ^{モニューシュコ} Moniuszko は、1819年5月5日、ロシアのミンスク県、ウビェルで生まれたポーランド人で、ドイツのウェーバー、チェコのスメタナ、ロシアのグリンカなどと同じ様に、民族に国有のオペラを創造した、ポーランドオペラの父と呼ばれている。今日まで広く国家的な敬意を集め、作品は再三上演されている。

彼は、ワルシャワ（1827年- 30年）やベルリン（1837年- 39年）で学び、ヴィルナの聖ヨハン聖堂のオルガニスト（1840年- 58年）になり、かたわらピアノを教えていた。その後、4幕のハルカの成功でワルシャワに居を移し、ワルシャワオペラの総監督として迎えられ、後には、ワルシャワ音楽院の教授に任ぜられ、指導的な役割を果たし、1872年6月4日、ワルシャワで53才の生涯を終えた。

作品には、6曲のミサ、レクイエム、序曲〈おとぎ話〉、2曲の弦楽四重奏曲、300曲に近い歌曲、そして24のオペラがある。代表的なオペラには、オペラブッファ〈Laterya（^{とみくじ}富籤）〉（1846年）、〈^{ハルカ}Halka〉（1858年）、〈Hrabina（伯爵夫人）〉（1860年）、〈Straszny dwor（幽霊城）〉（1865年）、〈Paria（^{ベアタ}賤民）〉（1869年）、〈Beata〉（1872年）がある。

ここにとり上げた〈ハルカ〉は、彼が29才の時の作品で、オペラの中では13番目に書かれたものである。題材となった民話の1700年頃のポーランドは、王制下の封建社会である。この時代に、「貴族のご乱行に怒った農民達が、最後には崖の上からその貴族をつき落とす」という実際にあったとされる物語りである。

オペラ〈Halka〉

この前後の時代を少しのぞいてみると、スラブ系諸族で統一国家を形成していたポーランドは、14世紀-16世紀には、欧州で有数の強国となっていた。しかし、次第に中央政権が弱まり、ロシア、プロイセン、オーストリアによる3回のポーランド分割により、1795年にポーランドは滅亡し、第1次世界大戦末期の1918年、共和国として再建される迄の123年間、ポーランド人の独立反乱、武装抵抗も効を奏することなく、他民族の支配が続いていた。この間、1846年、オーストリアの支配下にあった南ポーランドで、農民による血の暴動が起きている。この2年後に、ハルカ(2幕)が誕生し、初演されたが、「貴族を敵視する」題材ゆえに、その後ステージに上るには数えきれない障害があり、評価される迄10年間、ワルシャワ・オペラハウスライブラリーに棚上げされていた。しかし、その間に華やかに改訂され、困難をのりこえて、^{※1}1858年、ワルシャワでの4幕としての〈ハルカ〉が再演され、大成功となったのである。この年から1900年迄の42年間に、ワルシャワやプラハなどで500回の公演をし、又、第一次世界大戦中も含め、1935年までに、ベルリン、ハンブルク、モスクワ、ブダペスト、ヴィエンナ、ミラノ、そしてニューヨークで、エスペラントを含む多くの言語で、併せて1,000回の公演が行われたという。この記録をみても、いかに民衆の心にアピールした作品であるか、容易にうかがう事が出来るであろう。

現在、モニューシュコのアペラは、ポーランド以外ではほとんど上演されていないが、このハルカは、モスクワボリショイ劇場の演目中にみられる。我国に於ては、1963年、〈ポーランド国立大学交響楽団〉が初来日の時、初日の第1曲目に〈ハルカ〉序曲を演奏している。

※ 1. 我国では、江戸時代がやがて終ろうとしている時期である。〈ハルカ(4幕)〉の成功した、1858年には、「安政の大獄」が起きている。1830年代の天保期から、明治憲法体制成立の1889年-90年までが広義の明治維新といわれている時代、国内では百姓一揆や打毀しが激発し、又、対外的にも、日米修好通商条約の締結を頂点に、世論が分裂していた時期でもある。

(2) あ ら す じ

貴族のジャンニは、農家の召使い女、ハルカと愛し合い、結婚の約束をし、子供をみごもらせるが、実は、彼はハルカを弄び乍ら、スキャンダルを恐れて、偽りの誠実の誓いをしているのである。一方でジャンニは、金持ちの内膳頭の娘、ソフィアとも婚約してしまう。ハルカは、かねてから彼女を愛している農奴、ヨンテークに、ソフィアとの婚約を教えられるが容易に得心しない。しかし、ジャンニの嘲りの言葉でやっと真意を理解する。興奮して彼の屋敷に駆けつけるが、ジャンニとソフィアとが、客達と共に姿を現わすのをみて、その場に卒倒する。ハルカはヨンテークに連れられ、ふるさとの山へ帰るが、彼らの結婚式の日、ふたりが一同と共に教会に入った後、会堂に放火しようとするが、清らかなオルガンのひびきを聴いて我

オペラ <Halka>

に帰り、高い崖の上から身を投げる。農夫達の叫び声をきいて一同が出てきた時、

※2 ① ヨンテークは、ジャンニを捕えて岩の上へ引きづっていき、そこから突き落す。

② 怒った村人達は、婚礼に集まっている人々を追っ払ってしまう。

※2 最後は、この2通りの幕切れがある。

(3) 対 訳

登場人物

アルベルト Alberto	金持ちの内膳頭	バス
ソフィア Sofia	アルベルトの娘	ソプラノ
ジュンバ Gemba	アルベルト家の下男の頭	バス
ジャンニ Gianni	貴族の青年	バリトン
ハルカ Halka	農家の召使い女、亜麻色の髪乙女	ソプラノ
ヨンテーク Jontek	農奴	テノール
ザンポニャーロ Zampognaro	風笛を鳴らす人	バリトン
コンタディーノ Contadino	農夫	テノール
Coro	貴族の紳士の合唱	テノール・バス
	老若男女の農民の合唱	ソプラノ・アルト・テノール・バス

踊り子たち 数人の騎士と貴婦人

時代は、18世紀の終り

第Ⅰ・Ⅱ幕、アルベルトの屋敷の前

第Ⅲ・Ⅳ幕、ジャンニの領地の村の山中

Atto I

Scena 1

Sala laterale nella casa di Alberto.
Dalla sala vicina cavalieri e dame, in abiti di gala sortono a coppie e circolano sulla scena, aprendo il ballo colla polacca.

Gemba,

Or che l'alma riscaldata da l'ungarico liquore, dalla coppia fortunata s'alzi un

第Ⅰ幕

第1場

アルベルトの家の控えの部屋。

そばの部屋から騎士と貴婦人がひだ飾りの洋服を着て、次々とカップルで出てくる。そしてポロネーズを踊り乍ら舞台の上でぐるぐる回る。

ジェンバ、

今、ハンガリーのお酒で心暖まりましたので、幸運なカップルの名誉に乾杯しましょ

brindisi in onore.

Gemba, Alberto,

**Due invitati, (Tenore I II,) Coro
(T. B)**

Di felici e lieti giorni, sia vi sempre
largo il cielo.

E la vita vostra sempre adorni una pace
senza velo!

Degli sposi mira la prestanza!

L'alma esulta quando mira degli sposi
la prestanza. (i)

—Par Che ispiri ogni nobil somiglianza!

**La polacca possa nelle sale contigue, il core
solo rimane in scena.**

Gemba, Alberto,

Due invitati

Di due nobili casati in lor posa l'avve-
nire.

L'un per l'altro pajon nati, Dio li degni
benedire!

Bevono

Coro

—Viva, Evviva!

**Le coppie che ballano la polacca tornano
in scena.**

Gemba, Alberto,

Due invitati, Coro (T. B)

L'un all' altra par che ispiri ogni nobil
somialianza.

Di due antichi e nobili casati in lor posa
l'avvenire.

Coro

Evviva! Sì! Sempre uniti amiam ci
ognor!

alzandosi

Albert

Grazie, grazie, amici cari.

Di fraterno e patrio amor, sì, sempre
uniti amici, amiam ci, amiam ci ognor,
sì ognor.

el coro esce

う。

— ジェンバ、アルベルト、2人の客 (テノ
ール I、II)、合唱 (テノール・バス)

幸せで楽しい日々が、広い空の様にいつも
あります様に (お祈りします)。

そして、あなた方の生活がいつもペールの
ない平和で飾られています様に!

新婚夫婦のこの麗しさを篤とご覧下さい!

新婚夫婦のこの麗しさをみる時、心は踊り
ます。

(その麗しさは) 全てに威厳ある様に思わ
— せます!

ポロネーズの舞踏は隣りの部屋へ行き、合唱丈が
舞台に留る。

— ジェンバ、アルベルト、2人の客

貴族のご両家の未来は、彼らに支えられ
る。

一方はもう一方の対の為に生まれ、神様は
忝けなくも彼らを祝福して下さい!

彼らは酒を飲んでいる。

合唱

— 万才、うわあ!

ポロネーズを踊っているカップルが舞台に戻って
くる。

— ジェンバ、アルベルト、2人の客、合唱
(テノール・バス)

一方はもう一方に、全てに威厳がある様に
思わせませす。

由緒ある貴族のご両家の未来は彼らに支え
られます。

合唱

万才! 本当に! いつ迄も心を一つにし
て、いつも愛し合ひましょう!

立ち上って

アルベルト

有がとう、有がとう、親愛なる友人達。

兄弟の様な愛と祖国愛で、本当に心を一つ
にしていつも愛し合ひましょう、本当にい
つ迄も愛し合ひましょう。

合唱は出て行く

Scena 2

第2場

<Terzetto>

Gianni, Sofia, Albert

Gianni

Or che padre in sì bell' ora, dirti posso,
o mio Signor!

Or che padre dirti posso, benedici no-
stro amor...

Sofia

A miei voti, o genitore, tu propizio
fosti ognora.

Alberto

Questo imene del mio core fu la dolce
speme ancora.

Sofia, Gianni

A miei voti, o genitore, sì tu propizio
fosti ognora.

Benedici al nostro amor! O padre!
al nostro casto amor!

Albert

Cari figli!

Oh! gioja!

Benedico al vostro amor.

Su di voi del ciel la grazia sparga la
destra del Signor!

Halka oltre la scena.

Halka

Sereno al pari del ciel maggio, de' miei
verd' anni scorse il mattin.

Sofia

Che vuol dir ciò?

Halka

Pura era l'alma siccome il raggio che
brilla in fronte ai cherubin!

Sofia

Quel mesto canto.

O Gianni che vorra dir?

Halka

<三重唱>

ジェンニ、ソフィア、アルベルト

ジャンニ

今、この喜びの時に、父上、と呼ぶ事が出
来ます。私のお父さん!

父上と呼ぶ事の出来る今、私達の愛を祝福
して下さい...

ソフィア

私達の望みに、おゝお父様、あなたはいつ
も慈悲深くおられました。

アルベルト

この結婚は、私の心の内にずっとあった甘
い希望であった。

ソフィア、ジャンニ

私達の望みに、おゝお父様、本当にあなた
はいつも慈悲深くおられました。

私達の愛を祝福して下さい! おお父上!

私達の清らかな愛!

アルベルト

いとしい子供達!

おゝ、うれしい!

あなた達の愛を祝います。

あなた方の上に、神様の右手で天国からの
恵みを注いで下さる様! (祈ります)

ハルカが舞台の外にいる。

ハルカ

五月の空の様に晴れ渡った私のみどり年の
朝がすぎ去った。

ソフィア

あれは何が言いたいのですか?

ハルカ

天使のケルビンの額に輝く太陽の光線の様
に、魂は清らかでした!

ソフィア

あの悲しい歌は。

おゝジャンニ、彼女は何が言いたいのでし
ょう?

ハルカ

オペラ <Halka>

Ohimè la pace ei m'ha rapita, egli ha involato il mio core.

Gianni

a Sofia

Io l'ignoro. Sciagurata! qual destin la trasse qui?

Halka

Senza il suo sguardo per me la vita, del sol perdè lo splendore, piena è dolore, Ah!

Albert

D'onde mai nel mio castello questo canto penetrò!

Gianni

a parte

La sua voce!

Nel mio core lo sgomento si destò.

Sofia

inquieta

Che fia mai?

Gianni

a parte

Vienne or in queste mura?

Alberto

con collera

Vuo saper chi tanto osava.

vuol sortire

Gianni lo trattiene.

Gianni

a Sofia

D'una mendica è il lamento che t'implora, sposa amata!

Mentre qui regna il contento, essa geme sventurata!

Sofia

a parte

Quanto è nobile e pietoso, qual virtude in cor alberga!

a Gianni

あゝ(哀れ)、彼は私の平和を奪いました。私の心も盗みました。

ジャンニ

ソフィアに

私は知らない。不幸な人! どんな運命が彼女をここ迄引っぱってきたのか?

ハルカ

私にとって彼の眼差しがなかったら、私の生活に陽の光がなくなり、恐怖で一杯になります、あゝ!

アルベルト

どこからどうして城の中にこの歌が入りこんできたのか!

ジャンニ

自分に

彼女の声だ!

私はこの声で心の中でうろたえているのがわかる。

ソフィア

心配そうに

一体何ですか?

ジャンニ

自分に

今ここに彼女は来ているのか?

アルベルト

怒って

私はひどいいやがらせをするのが誰か知りたい。

アルベルトは出かけた

ジャンニは彼を引き留める。

ジャンニ

ソフィアに

愛する妻よ! 嘆願しているのは乞食の訴えです。

こちらは喜びが君臨しているが、一方彼女は不運にうめいている!

ソフィア

自分に

彼は何と高貴で、慈悲深い、心にはどんな徳が住んでいるのでしょうか!

ジャンニに

(amato)
Carri, vola, o caro sposo, l'infelice
a rintracciare,

1

Sofia

repeat 1

Gianni

La voce ell'è d'una mendica che im-
plora mentre a noi d'intorno regna il
piacer.

Alberto

Com' è nobile e pietoso, qual virtude
alberga, nel bel core.

Gianni

Essa geme sventurata!

Sofia

Sposo amato, corri, va!

Alberto

Corri, Gianni, va!

Sofia

repeat 1

Gianni

Volo, o sposa, quell' infelice a rin-
tracciare.

Ah, io volo al cenno tuo quell' in-
felice, diletta sposa, io volo.

Alberto

Vola, o figlio mio, deh, a rintracciar
quell' infelice, sì, corri.

Alberto e Sofia si allontanano.

Gianni rimane solo.

Scena 3

Gianni solo, mesto e inquieto

<Recitativo e Romanza>

Recitativo · Gianni

Qual sorte, o cielo, ver me la guida?
nel dì delle mie nozze.

おゝいとしい(愛する)夫、走って、
とんでいきなさい、不幸な人を捜し
に、

1

ソフィア

くり返し 1

ジャンニ

嘆願しているのは乞食の声です、一方私達
の周りは幸せが君臨している。

アルベルト

彼はこんなに高貴で、慈悲深い、美しい心
にどんな徳が住んでいるのか。

ジャンニ

彼女は不幸にうめいている!

ソフィア

愛する夫よ、走って、行きなさい!

アルベルト

走って、ジャンニ、行きなさい!

ソフィア

くり返し 1

ジャンニ

おゝ妻よ、私はあの不幸な人を捜しにとん
でいきます。

あゝ、私はあなたの命令であの不幸な人を
捜しに行きます、最愛の妻よ、私はとんで
いきます。

アルベルト

とべ、おゝ私の息子よ、どうかあの不幸な
人を捜しに、さあ、走って行きなさい。

アルベルトとソフィアは遠くに行く。

ジャンニは一人留まる。

第3場

ジャンニ一人で悲しそうにいらしている。

<叙唱と華想曲>

叙唱 ジャンニ

私の結婚式の日、おゝ神様、私に対して
どんな運命に導いて下さるのか?

D'un umile schiava il dolore perchè,
può tanto sul cor mio!

Sia! vederla ancora è duopo, la mestizia sua placare, e poi non più, mai più!
ver me non rieda.

Romanza · Gianni

1. Perchè nell' ore ove il cuore langue mesto anelando a ignoto ben, o Halka, fatale il tuo sorriso, il tuo candore di paradiso, d'amor la fiamma m'accese in segno.
2. Or del rimorso mi rode l'angue, ed a me stesso in odio son!
A cieco ardore io l'ho immolata, io l'ho tradita, abbandonata, del cielo indegno son del perdono.

Scena 4

Halka entra in scena senza avvedersi della presenza di Gianni

<Canzone e Duetto>

Canzone · Halka

Sereno al pari del ciel di maggio de' miei verd'anni scorse il mattin.

Pura era l'alma siccome il raggio che brilla in fronte ai cherubin!

Ohimè la pace ei m'ha rapita, egli ha involato il mio core.

Senza il suo sguardo,
per me la vita del sol perde lo splendore, piena è d'orrore, ah,!

Rispondi, mio sol tesoro, dimmi ove sei, ove t'ascondi!

Qual fior che langue svelto dal stelo,
da te divisa io moro!

si accorge di Gianni, e gli si getta ad collo

いやしい奴隷の悲しみに、何故私の心がこんなに影響されるのか!

そうだ! 私はもう一度彼女に会おう、彼女の悲しみをなだめて、それからもはや決して会わない!

私の方へ戻ってこない様に(しよう)。

華想曲 · ジャンニ

1. 何故か今、心の中は悲しく力をなくし、その心は未知の愛を激しく求める。
おゝハルカ、お前の微笑は致命的なのだ、お前のパラダイスの純白は、私の胸の中で愛の炎となってもえている。
2. 今、私の良心の呵責が私を苦しめ、そして自分で自分を憎みます!
私は彼女に盲目の情熱で生けにえにし、私は彼女を裏ぎり、捨てました。私は神に許される値打ちがありません。

第4場

ハルカはジャンニのいる事に気づかず、舞台に入ってくる。

<カンツォーネと二重唱>

カンツォーネ、ハルカ

五月の空の様に晴れ渡った私のみどり年の朝がすぎ去った。

天使のケルビンの額に輝く太陽の光線の様に、魂は清らかでした!

あゝ(哀れ)、彼は私の平和を奪い、私の心も盗みました。

私にとって彼の眼差しがなかったら、私の生活に陽の光がなくなり、恐怖で一杯になります、あゝ!

答えて下さい、私のかけがえのない愛人、どこに居るのか、どこに隠れているのか言ってください!

茎からむしり取られて力の抜けた花の様に、私はあなたから別れたら死んでしまう!

ハルカがジャンニに気づき、そして彼の首にとびつく。

<Duetto>

Halka · Gianni

Halka

O Gianni! Mio caro!
Jontek giurommi che m'abbandoni, che
a nobil donna il cor, la man tu doni!

Ma alfin son teco, ti stringo al seno,
e nel tuo sguardo io leggo appieno,
ch'ei m'ingannava, che m'ami ancor.

Mio caro bene, or son beata, di gio-
ja immensa ho pieno il cor. Oh mio
contento, me fortunata, al par di
prima tu m'amian cor!

[2]

Halka

repeat [2]

Gianni

a parte

O mio tormento!
Or come mai, allontanarla, come po-
trò.

a Halka

Halka adorata, ah ben tu sai che a
te fedele ognor sarò!

Jontek invano t'ha il cor crucciato,
La gelosia mentir lo fea!

E tu il credesti! Me sospettasti!

Halka

O Gianni amato! Perdono a me!

Gianni

Da qui per ora, deh,
t'allontana, dissimulare m'è forza an-
cora, in me confida!
In me confida, mai forza umana a te
rapire potrà il mio cor.

<二重唱>

ハルカ、ジャンニ

ハルカ

おゝジャンニ! 私のいとしい人!
ヨンテークが、私に、あなたは私を捨て
る、と神にかけて言いました、そして高貴
な女にあなたの心と婚約を贈る!(と言いま
しました。)

しかし今や、私はあなたと一緒にいま
す、胸にあなたを抱きしめ、そしてあ
なたの眼から、彼が私に嘘をつき、あ
なたは私をまだ愛していることを確か
によみとりました。

私のいとしい人、今私は幸せです。私
の心は無限の喜びで一杯です、おゝ私
はうれしくて、私は幸福です、あなた
は前と同じ様にまだ私を愛していま
す!

[2]

ハルカ

くり返し [2]

ジャンニ

自分に

おゝ私は苦しい!
今、何をすることも出来ない、彼女を遠ざけ
たいが、どうすれば出来るだろう。

ハルカに

熱愛するハルカ、私がお前にいつ迄も忠実
—であろう事をお前はよく知っているね!

ヨンテークはお前の心をむだに苦しめた、
彼が嫉妬してお前に嘘をついていたのだ!
そしてお前が彼を信じていた!私を疑いま
した!

ハルカ

愛するジャンニ!私を許して下さい

ジャンニ

今ここから、どうかお前は私から離れて下
さい、私は我慢する力がある、私を信じて
下さい!
私に託してくれ!人間の力ではお前に決
して私の心を奪う事は出来ないだろう。

Halka

repeat②

Gianni

O mio bene t'amo ancor.

Ti calma alfin!

**l'abbraccia con trasporto
respingendola dolcemente
con rimprovero**

Di te scordarmi!

E tu il credesti!

Coro

Coro oltre la scena

Evviva!

Gianni

Alcun s'appressa, di qui t'invola!

Fuor delle mura m'attenderai.

Del crocifisso t'arresta al piedi.

In breve io pur colà sarò.

Lungi ne andrem, Halka, mio ben,
pace a trovar pace d'amore nel sen.

③

Helka · Gianni

repeat③

Helka

Ai nostri monti ne andrem pace a
trovar d'amore in sen.

O mio tesoro, mio solo bene, tu m'ami
ancor!

Gianni

Non indugiar, Halka, mio ben.

Ai nostri monti andrem, sì pace a
travar, d'amor nel sen.

Non indugiar, o Halka, involati per
pietà.

Di qui t'invola per pietà!

Halka

ハルカ

くり返し②

ジャンニ

おゝ私のいとしい人、私はお前を愛してい
る。

落ち着いてくれ!

彼は激しく抱きしめた

やさしくはねのけて

ちょっと小言を言って

私はお前を忘れようと思った!

そしてお前は ヨンテークを信じていたん
だ!

合唱

合唱が舞台のかなたで

万才!

ジャンニ

誰か近づいてくる、ここから出ていきな
さい!

城の外で私を待っていないさい。

キリストの像の足元で待っていないさい。

すぐ私もそこ迄行くだらう。

遠くに行こう、いとしいハルカ、平和
を捜しに行こう、私達の胸の中に平和
の愛を捜しに行こう。

③

ハルカ、ジャンニ

くり返し③

ハルカ

私達の山へ行きましょう、胸に平和の愛を
みつけに行きましょう。

おゝ私の愛人、かけがえのないいとしい
人、あなたはまだ私を愛している!

ジャンニ

ぐずぐずしないで、いとしいハルカ。

私達の山へ行こう、そう胸の中に平和の愛
をみつけに。

ぐずぐずしないで、おゝハルカ、どうか出
て行って下さい。

—ここから出て行って下さいどうかたのむ!

ハルカ

senza badare alle parole di Gianni
al colmo della gioja
O gianni mio bene!
Son beata, m'ami ancor!

Gianni

Per pietà non tardar!

Halka

Quai m'aspettan lieti giorni, or che ai
monti meco torni, dolce mio signor!
Della croce al pie t'aspetto, non tardar,
o mio diletto, o mio bel tesor.

A te accanto le sue pene tutti questo
cor obblia,

Halka · Gianni

Morte sol il nostro amor, sì, sì, morte
sol, sol estinguere potrà.
Monte sol, sol potrà dividerci, (O
Gianni) Ormai potrà.

Gianni

Deh! t'invola!
Va, t'affretta deh, parti, deh, per pietà!

Gianni la stringe al seno, poi l'accompagna
verso la porta, la fa uscire, e rinchiude i bat-
tenti.

Scena 5

Gianni, coro di gentiluomini che entrano a
gruppi separati, indi Alberto, Sofia e Gemba
con una coppa d'argento.
Sulla soglia dell' ingresso vedonsi parecchie
dame.

entrano in scena i nobili e circondano Gia-
nni

Coro Basso II do tutti

Dove sieti, signor sposo?
In tal dì non v'è, non v'è riposo.

Gianni

ハルカはジャンニの言葉を注意深く聞かないで
喜びの絶頂で
おお私のいとしいジャンニ!
私は幸せです、あなたはまた私を愛してい
ます!

ジャンニ

どうか遅くならない内にたのむ!

ハルカ

これから喜びの日々が私を待っている、今
あなたは山へ一緒に戻る、やさしいお方!
キリストの像の足元であなたを待っていま
す。おゝ私の最愛の人、おゝ私のすてきな
愛人、遅くならない内に行きます。

あなたのそばに居る時、この心の苦しみが
すっかりなくなり、

ハルカ、ジャンニ

私達の愛は死ぬ時丈、そう、そう、死ぬ時
丈(愛の炎を)消す事が出来るでしょう。
死ぬ時丈、死ぬ時丈、私達を引き離す事が
出来るでしょう、(おゝジャンニ)(それ以
外は)決して出来ないでしょう

ジャンニ

どうか! 出て行って下さい!
行きなさい、どうか急いで去りなさい、た
のむ!

ジャンニはハルカを抱きしめ、それからドア迄
同伴し、出て行かせる、そして扉を閉める。

第5場

ジャンニと貴族の合唱が、いくつかに分かれてグ
ループで入ってくる。その後、アルベルト、ソフ
ィア、ジェンバが銀のコップを持って入ってくる。
入口の敷石の上に数人の貴婦人が居る。

舞台上に貴族達が入ってくる、そしてジャンニをと
り囲む。

合唱 バスII全員

どこにおられますか、花婿さんは?
この様な(結婚式の)日には、休みはあり
ません。

ジャンニ

オペラ <Halka>

con finta allegria

Son con voi, orsù andiam!

tendendo loro la mano tristamente

Grazie ben di cor!

Coro Tenori tutti

circondano Gianni

Fortunato siete invero, la sposina è
un vero amor.

entrano in scena

E l'orchestra suona invan.

Coro Basso Imo tutti

Voi qui il tempo invan perdetevi.

Oroù, V'aspettiam.

Coro tutti

E. l'orchestra suona invan.

volgendosi verso Alberto, che entra in questo momento

Coro tutti

Voi di tregua un (sol) istante non ci date.

(Voi)

Caro signore, voi regalmente ci trattate.

Basta, basta in verità. Voi, signor, ci colmate di bontà.

uno degli invitati

uno degli invitati alzando la coppa

Viva il nobile casato!

Coro tutti

con tutta la forza

Evviva!

un altro invitato come sopra

E l'illustre colleganza!

Coro tutti

Di felici, lieti giorni sia vi sempre largo il cielo.

Evviva!

<Aria · Alberto>

Alberto commosso ringraziando cordialmente

Non mi bastano parole, per esprimere degnamente, o signori, miei cortesi, alla

大喜びのまねをして

私はあなた方と一緒に（ここに）居ますよ、さあ行きましょう！

ジャンニは彼らに悲しそりに手をさし広げる

私の心からの親友に感謝します！

合唱 テノール全員

ジャンニをとり囲んで

あなたは誠に幸運でいらっしゃる、花嫁さんは本当にかわいい方です。

舞台に入ってくる

そして（みんなが居なかったから）オーケストラがむなしくなりひびいています

合唱バス I 全員

あなた方はここで時間を無駄にしましたねさあ、待ちましょう（アルベルトを）

合唱全員

そしてオーケストラがむなしくなりひびいています

その時、アルベルトが丁度舞台に入ったので、彼の方へ首を向ける。

合唱全員

私達は一瞬（たりと）も休息をあげません。

いとしい〔私達の〕旦那様、あなたは私達に尊大にもてなして下さいました。

充分です、本当に充分です。旦那様、あなたは私達に真心を一杯下さった。

客の一人

客の一人がコップをさし上げ乍ら

貴族の家に万才しましょう！

合唱全員

力強く

万才！

もう一人の客もさっきの様に

そして貴族の連帯に！（万才しましょう）

合唱全員

幸せで楽しい日々がいつも広い空の様にあります様に（お祈りします）

万才！

<詠唱 アルベルト>

アルベルトは心から感激して感謝し乍ら

私は品位をもって（感謝を）表現する言葉を充分持っていません、親切な皆様方、あ

vostra garbatezza, quanto io sia riconoscente, sì riconoscente.

Ma pure in giorno sì giulivo ho le lagrime alle ciglia, che dell' unica mia figlia io fra poco sarò privo.

Gianni

inchinandosi

Caro padre!

Alberto

abbracciando Sofia

Figlia amata!

abbracciando Gianni

O miei cari!

agl' invitati

Vi ringrazio miei signori!

con brio

Or fra noi degli a vi nostri torni alfine l'allegria.

Chi m'è amico, pronto sia meco il sole ad aspettare.

Giovanotti, a me credete, alla danza ritornate, su da bravi, pronti siate meco il sole ad aspettare!

Gemba

a parte ad Alberto

Nella sala, mio signore, insoffribil è il calore!

Se qui pure si ballasse?

Alberto

Caro Gemba, ti son grato, si davvero è ben trovato!

Gemba

presso la porta della sala

La mazurka olà s'intori!

なた方のやさしさに、私はどんなにか喜んで
います、本当に喜んでいます。

しかしそれにも拘らず、今日は幸せだけ
ども、まつげには涙があります、私の一人
っ娘を私は（ジャンニから）すぐとり上げ
るでしょう。

ジャンニ

おじぎして

いとしい父上!

アルベルト

ソフィアを抱擁して

愛する娘!

ジャンニを抱擁して

おゝ私のいとしい子供達!

お客さん達に

私は皆様方に感謝します!

元気よく

今、私達に、私達の祖先の喜びがついに戻
ってきます。

誰かが私に友人であるなら、一緒に喜んで
太陽を待ちます。

若者達、私を信じて下さい、ダンスに戻っ
て下さい、さあ機嫌よく過ごして下さい、
私と一緒に喜んで太陽を待ちましょう!

ジェンバ

アルベルトに言う

旦那様、サロンの中は暑くて堪えられませ
んよ!

もしそれでもここで、踊りますか?

アルベルト

親愛なるジェンバ、お前に感謝しよう、ま
さしく本当によい事に気づいてくれた!

ジェンバ

サロンの入口のそばで

さあ、マズルカを始めましょう!

I 幕終り

Atto II

第 II 幕

Viale nel giardino.

A mano destra il palazzo di Alberto risplen-

庭の通路。

右側に松明の輝くアルベルトの屋敷がある。

dente di faci.

Il giardino è chiuso da un muro nel fondo
dalla scena. È notte.

舞台の奥は、壁でその庭が閉ざされている。夜で
す。

Scena 1

第1場

<Recitativo e Aria>

Halka

Recitativo

Al piè della croce prostrata aspettarlo
già vorrei!

E invocar l'addolorata Madre Santa dei
tapini, che pietosa il ciglio volga alla
sofferente!

Ah! dell'orfana infelice niun si com-
muove al fato rio.

Dov'è Jontek?

dal palazzo si odono degli evviva.

Qual tripudio nel palazzo!

Sola io son.

con gioja

Di tornar ai nostri monti Gianni istesso
or ora mi giurò.

Notte e di languir mi spetta quando
egli è da me lontano.

Ma fra poco ei tornerà!
e beato il cor, il cor sarà!

Aria

Se in allodoletta potess' io
e del cielo immenso nell' azzur
o guizzar qual lesto pesciolin
verso te, ben mio!

Ma non son, ah! lassa,
il vispo pesciolino, nè possiedo i vanni
del lieve augellino.

Mormora il vento: tornerà il tuo bene!

<叙唱と詠唱>

ハルカ

叙唱

私はイエスキリストの足元でうちのめされ
て、もう彼を待ちたい! (まだ時間が来
ない)

そして、みじめな人の嘆きの聖母、サンタ
マリア様に、慈悲深い目を苦悩する私に向
けて下さい、と私はお祈りします!

あゝ! 不幸なみなし児の悪い運命に誰も心
してくれない。

ヨンテークはどこに居るの?

屋敷から万才の声が聞こえる。

お屋敷の中には、どんな喜びがあるのか!

私は一人です。

よろこんで

ジャンニがちょっと前、私達の山へ戻る事
を私に誓いました。

彼が私から離れて遠くに居る時、私を淋し
くさせ、力をなくさせます。

しかし、もうすぐ彼は戻るでしょう!

そして、私の心は、私の心は幸せになるで
しょう!

詠唱

もし私が、ひばりさんに変る事が出来、青
空の果てしない空にとぶ事が出来るか、あ
たかも小川のすばしこくはやお魚さん
の様にすべる様に泳ぐことが出来れば、私の
いとしい人、あなたの所へ! (とんでいき
ます)

しかし私はそうではなく、あゝ疲れてしま
って、元気なお魚さんでもなく、軽い鳥さ
んの羽根ももっていない。

風がささやきます: あなたのいとしい人は
戻ってくるでしょう!

a piena voce

Oh! qual stella in ciel potessi mostrarmi nel tuo cor, o Gianni, nel tuo cor vorrei specchiarmi, se fiammella errante, se fiammella pallida foss' io, e del tuo amor ardendo sol svanir, svanir nell' infinito, vorrei, mio ben, ardendo sol per te, ardendo d'amore.

Ma del cielo azzurro non son io la stella, né la smorta e lieve, instabile fiammella.

Sol dè nostri monti l'eco geme e dice: povera infelice!

Se del cielo azzurro io fossi la stella, ah sol per te vorrei brillar!

E sol nel tuo core specchiarmi vorrei, mio solo ben, nel tuo cor. (vorrei.)

Oh, me beata, ei torna alfin!

A me ritorna il caro amor!

Il caro bene a me ritorna, torna a me!

si avvede del sopraggiungere di Jontek e gli corre incontro.

Scena 2

<Recitativo e Aria>

Recitativo · Halka

con rimprovero

E! perchè mai, Jontek, spietato, tu m'ingannavi?

L'unica gioja al cor straziato perchè strapparvi?

Or or lo vidi, or or l'udii, il mio bel sole!

A me ritorna, non m'abbandona.

一杯の声で

おゝ! 私はあなたの心の中であたかも空の星の様にみせる(輝く)事が出来れば、おゝジャンニ、私はあなたの心に私を写してみたいし、もし私がさまよひ歩く炎だったら、もし青く輝く炎だったら、あなたの愛丈で燃やして、なくなってしまいたい、無限の中へ消え失せたい、私のいとしい人、私はあなたの為に丈燃やしたい、愛を燃やしたい。

しかし私は青空の星ではない、青く軽い炎でもなく、揺れ動く炎でもない。

私達の山のこだま丈がうめいて言います: あわれな不幸な人!

もし私が青空の星であったら、あゝあなたの為に丈輝きたい!

そしてあなたの心の中で丈私を写したい、私のかけがえのないいとしい人、あなたの心の中で丈。(写したい。)

おゝ、私は幸せです、彼はついに戻って来ます!

私の所へ、いとしい恋人は戻って来ます!

いとしい人は私の所へ戻って来る、私の所へ戻って来ます!

彼女はヨンテークのくるのに気付き、彼の所へ走って出迎えに行く。

第2場

<叙唱と詠唱>

叙唱 · ハルカ

ちょっと怒って

え! ヨンテーク、どうしてあなたは私を騙したの?

あなたはどうして心にある唯一の喜びを引きさいて、ひったくるのですか?

今丁度彼をみました、今丁度彼の声を聞きました、私のすばらしい太陽!

彼は私の所へ戻ります、彼は私を捨てません!

オペラ <Halka>

Jontek si mantiene freddo e cupo, fino alla sua aria.

Jontek

Sventurato cor è il tuo.

Halka

ieterrompendolo

Povero invero come batteva, quanto tremava.

in tono di dolce rimprovero

Ah! Jontek, Jontek, perchè, crudele, m'hai tu crucciata?

Jontek

ironicamente

Son dunque un mentitor?

Halka

spaventata

Mi scherni ancor?

Jontek, di qui partiam.

Jontek

con indifferenza

Ti seguo, andiam.

Halka

guardandosi attorno

Oh, come strane son queste mura!
sembrano asili sol di sciagura.

Spuntare il sol di quà non vedo nel roseo cielo.

Nè tramontar lo vidi mai fra l'alte mura.

Fuggiam, fuggiam, che dal terrore mi sento il cor nel sen gelar!

Orsù partiam.

Orsù torniam ai nostri monti.

Ei pur verrà, m'aspetta già forse, vien corriam.

stupita

con timore

Tu ridi ancor?

Jontek

con ironia repressa

Se ai nostri monti ei de' venir, non in-

ヨンテークは彼の歌までずっと冷たく陰気である。

ヨンテーク

あなたの心はみじめです。

ハルカ

ヨンテークをさえぎって

本当に哀れでした、凄くドキドキして、もの凄くふるえました。

やさしく怒った語調で

あゝ! ヨンテーク、ヨンテーク、どうしてあなたは私を残酷に苦しませるの?

ヨンテーク

皮肉って

結局、私は嘘つきですか?

ハルカ

おびえた表情をして

私を、まだバカにするの? ヨンテーク、ここから出て行きましょう。

ヨンテーク

無関心に

あなたについて行きます、行きましょう。

ハルカ

周りをよくみて

おゝ、この城の壁は何かおかしい!

(この壁は) 災害収容所のように見える。

(朝) バラ色の空に太陽の昇るのがここからみえない。

私は高い壁で、太陽が沈むのもみえない。

逃げましょう、逃げましょう、胸の中で心が恐ろしさで凍るのを感じる!

さあ出て行きましょう。

さあ私達の山へ戻りましょう。

彼も来るでしょう、彼は恐らくもう待っている、走って行きましょう。

彼が啞然として

ハルカが心配顔で

あなたはまだ笑っているの?

ヨンテーク

おさえた皮肉で

もし私達の山へ彼が来るなら、ぐずぐずし

dugiar, teco verrò!
s'arresta, la guarda con amara pietà
e prorompe

<Aria・Jontek>

Tu credi ancora al seduttore!
O sventurata, che ti tradi?

Al par del vento devastatore, come un
torrente di struggitore, empio e crudel
egli menti!

Ah, non scordare folle d'amor che sei
sua schiava, ch'ei t'è signore.

Halka

Gli credo sì, gli credo ognor!

Jontek

con ira repressa

Di quei codardi! forse non sai per
schiava inerme qual sia l'ardore.
Sedurvi sanno, amarvi mai si fanno
schrno dei vostri lai.

Hanno nel sen di lupo un cor, tu credi
ancora al seduttore!

Halka rammenta folle d'amore, che sei
sua schiava ch'ei t'è signor!

A piena voce

Qual fior che langue al sol estivo pri-
vo d'umor ristorator.

Ogni pensier volgea ver te.

quel vil ti scorse!

e ti guato, d'un guardo sol ti fascino,
per poi rapirti pace e onore, e pace e
onor!

Invan movendo a queste mura, tu t'il-
ludevi o sventurata!

Tu qui venisti per tua sciagura,

ないで、あなたと一緒に来るでしょうよ!
立止って、彼女をかなしくあわれみ、そ
して突然話し出す

<詠唱・ヨンテーク>

あなたはまだ誘惑者を信じている!

おゝ不幸な人、彼はあなたを裏切ったんで
しょう?

彼は風の略奪者の様に、破壊者の急流の川
の様に、信仰のない、残酷な嘘をついたの
だ!

あゝ、あなたは彼の奴隷で、彼はあなたに
とってはご主人であることを、愛でバカに
なって、忘れてはいけません。

ハルカ

私は本当に彼を信じていますとも、いつ迄
も彼を信じています!

ヨンテーク

おさえた怒りで

多分あなたは武器を持たない奴隷である為
に、あの腰抜け達! の心は分らない。
彼らはあなた方を誘惑する事丈知ってい
て、決してあなた方を愛さない、あなた方
の悲しみをあざ笑うのだ。

彼らは胸の中におおかみの様な心をもっ
ている、あなたはまだ誘惑者を信じている!
ハルカ、愛でバカになっているのに気付き
なさい、あなたは彼の奴隷で、あなたにとっ
て彼はご主人であることに気付きなさい!

一杯の声で

私はあたかも夏の太陽で元気づける水がな
くなって、力をなくした花の様です。

彼の全ての考えをあなたに向けていました。

ひきょうな彼は、あなたをみつけ出した!

そしてあなたをこわい目でみて、一目ぱれ
をしてあなたをまどわし、それから彼はあ
なたの平和と名誉を、平和と名誉を奪いま
した!

あなたがこの城まで来たのがむなしい、あ

なたは自分でだまされた、おゝ不幸な人!

あなたはあなたの不幸の為にここへ来た、

オペラ <Halka>

mostrandole col gesto il palazzo

il tuo signor a nobil dama offerse il cor.

con furore e ironia volgendosi al palazzo

Oh! nobil coppia, oh, degno amor, degno sì degno amor!

Coro oltre la scena

Caro (T. B)

Sì di felici e lieti giorni, sia vi sempre largo il cielo!

E la vita vostra adorni, una pace senza vel!

<Finale>

Halka, che ha ascoltato immobile le parole del coro, si scuote, comprende la sua sciagura, e corre verso la porta del palazzo, alla quale batte con disperazione.

Halka

Apritemi! apritemi!

O Gianni, rispondi, son io, vien, padre del pargolo mio!

Jontek

trattenendola dalla porta del palazzo

Che tenti, o sciagurata; non affrontar il lor furor!

Halka

a Jontek

Non m'arrestar!

vederlo io vuò.

Jontek

non affrontar il lor furor!

Halka

respinge Jontek e corre di nuovo alla porta del palazzo

Aprite! apritemi!

O Gianni, rispondi, son io, vien, padre del pargolo mio!

volgendosi supplichevole a Jontek

Halka

屋敷をゼスチャーしてみせて

あなたのご主人は高貴な婦人に心をあげました。

武力の様に怒って、屋敷へ身体を向けて皮肉に

おゝ! 高貴なカップル、よく似合った愛、よく似合った、本当によく似合った愛だ!

合唱が舞台の外で

合唱 (テノール・バス)

本当に、幸せで楽しい日々が、広い空の様にいつもたくさんあります様に! (お祈りします)

そして、あなた方の生活がベールの無い平和で飾られています様に! (お祈りします)

<フィナーレ>

ハルカはじっと動かないで合唱の言葉を聞き、動揺する、自分の不幸が分り、そして屋敷のドアの所へ走って行き、絶望して (ドア) をたたく。

ハルカ

開けて下さい! 開けて下さい! おゝジャンニ、答えて下さい、私です、私の赤ちゃんのお父さん、来て下さい!

ヨンテーク

彼女を屋敷のドアの所で引留める

何をするつもりですかお不幸な人; 彼らの怒りに挑戦しないで!

ハルカ

ヨンテークに

私を止めないで!

私は彼に会いたいです。

ヨンテーク

彼らの怒りに挑戦しないで!

ハルカ

ヨンテークを追い返して、屋敷のドアの所へもう一度走って行く。

開けて下さい! 私に開けて下さい!

おゝジャンニ、答えて下さい、私です来て下さい、私の赤ちゃんのお父さん!

ヨンテークに懇願する様に身体を向けて

ハルカ

Al nostro signore, mi guida per pietà
...

volgendosi al palazzo

Gianni! Ah! per pietà!

Ascoltami!

Jontek

M'ascolta andiam, ti calma alfin!

Helka vien, non affrontar il lor furor.

Ti calma alfin, di qua partiam!

私達のご主人の所へ私を連れて行って下さい、お願いします...

屋敷の方を向いて

ジャンニ、あゝ、助けて下さい!

聞いて下さい!

ヨンテーク

私(の言う事)を聞いて下さい、行きましよう、落ち着いて下さい!

ハルカ行きましよう、彼らの怒りに挑戦しないで。

落ち着いて下さい、ここから出て行きましよう!

Scena 3

第3場

Detti, coro di gentiluomini, servitori con faci accese e Gemba

Halka

Ascoltami!

conduce Halka sul davanti della scena

Jontek

S'appressan già.

Coro (T. B)

Gemba

alla porta dal palazzo

Un tal rumor ne fa stupir!

Questo fragor che?

Halka

Rispondi a me,

Al mio Signor, mi guida tu!

Da Gianni andiam.

Jontek

Ti calma, o ciel!

S'appressan già, Ah per pietà non affrontar il lor furor.

Coro (T. B)

Che mai vuol dir?

前に述べた人達、貴族達の合唱、火のついた松明をもった下男達とジェンバ

ハルカ

私(の言う事)を聞いて下さい!

舞台の前へヨンテークがハルカを連れてくる

ヨンテーク

もう彼らが(結婚式にいる人が)近づいてきます。

合唱(テノール・バス)

ジェンバ

屋敷のドアの所で

この様な騒音は(ハルカがドアを叩く音)誰でもびっくりします!

このすさまじい音は何ですか?

ハルカ

私に答えて下さい、

私のご主人の所へ、私を連れて行って下さい!

ジャンニの所へ行きましよう。

ヨンテーク

静かにして下さい、おゝ神よ!

もう彼らは近づいてきます、あゝ、お願いします、彼らの怒りに挑戦しないで。

合唱(テノール・バス)

彼女は一体何が言いたいのか?

Un tal rumor ne fa stupir!

Gemba

ai servi

Si scaccin!

Se un asil cercate!

— via di quà!

Halka

Lasciami!

Al mio signore, mi guida per pietà!

al nostro signore mi guida per pietà!

Oh Gianni, Gianni, m'ascolta, o ciel,
o mio signor, m'ascolta, o ciel!

Jontek

Deh, ti calma alfin. Halka per pietà
m'ascolta andiam!

Mi segui andiam.

Halka, deh, t'affretta, andiam!

Ti calma alfin,

Non affrontar il lor furor!

Ti calma per pietà!

Coro (T. B)

Su dai fanti andate. via di quà!

I tumulti sono vani o villani, orsù, via
villani, via di quà!

Via!

Un tal rumor che vuol mai dir?

Coro (T)

Villani tosto via di qua!

Andate via di quà! villani.

Coro (B)

—Presto! Villani!

この様な騒音に誰でもびっくりします!

ジェンバ

下男に

彼らを(ハルカとヨンテーク)払いのけな
さい!

もし収容所を探しているのなら!

—ここから出て行きなさい!

ハルカ

私を放っておいて下さい!

私のご主人の所へ、私を連れて行って下さ
い、お願いします!

私達のご主人の所へ私を連れて行って下さ
い、お願いします!

おゝジャンニ、ジャンニ、私(の言う事)を
聞いて下さい、おゝ神様、私のご主人、私
(の言う事)を聞いて下さい、おゝ神様!

ヨンテーク

どうぞ、静かにして下さいハルカ、お願い
します、私(の言う事)を聞いて下さい行
きましょう!

私について来て下さい行きましょう。

ハルカ、どうか、急いで行きましょう!

静かにして下さい、

彼らの怒りに挑戦しないで!

静かにして下さいお願いします!

合唱(テノール・バス)

歩兵のいる所へ行きなさい。ここから出て
行きなさい!

興奮は無駄です、おゝ百姓達、さあ、百姓
達、ここから出て行きなさい!

出て行きなさい!

この様な騒音で、一体彼女は何か言いたい
のか?

合唱(テノール)

百姓達はやく、ここから出て行きなさい!

ここから出発しなさい! 百姓達

合唱(バス)

—はやく! 百姓達!

Scena 4

第4場

Detti e Gianni

<Duettino>

Jontek · Gianni

Gianni

sotto voce a Halka

D'allontanarti, t'ho scongiurato!

Chi ti trattenne?

all' intendere le parole di Gianni, Halka, fuori di sè, cade estenuata sopra una panca e rimane immobile, tutta immersa nel suo dolore, fino alla scena seguente

Jontek

sortendo dalla folla e inchinandosi

Fui io, Signor!

Gianni

nel veder Jontek, Gianni si scuote, e par che voglia dar sfogo alla sua rabbia, ma poi si frena, e dice con voce repressa

È dunque ver lo stolto ardir, tu qui scortar, quella demente osasti?

Io vuol saper con quale fin, senza un mio cenno ardisti il feudo abbandonar?

a parte

Oh, mio furor!

Lo sdegno io so frenar appena!

con isdegno

Senza indugiar ai monti l'addurrai, poi l'obbedienza tua saprò ricompensarti.

T' affretta, va, non indugiar, e l'obbedienza tua sarà ricompensata.

Jontek

Pietà, o signor, vi parli al cor per l'orfanelle afflitta e misera.

前に迎えた人達とジャンニ

<二重唱>

ヨンテーク・ジャンニ

ジャンニ

ハルカにひそひそ声で

私は、お前を遠ざけることを、お前に嘆願した!

誰がお前をここに引き留めたのか?

ハルカはジャンニの言葉が分り、何が何だか分らなくなって、ベンチの上に力抜けて倒れ、そしてじっと動かないまま、次の場まで悲しみの中に沈みこんでいる。

ヨンテーク

群衆の中から出ていき、おじぎして

私でした、ご主人様!

ジャンニ

ヨンテークをみて、ジャンニは驚ろいて、そして自分の激しい怒りをぶちまけたい様になるが、しかしその後で自分を抑えて、そして抑えた声で言う。

本当に道理を弁えないで大胆にふるまい、あなたはよくここへ、あの狂人を思いきって連れてきましたね?

どの様な目的で、私の命令なく領地を大胆にはなれたか? 私は知りたい。

自分に

おゝ、私は怒っています!

私は立腹をどうにか抑える事が出来る!

怒った声で

ぐずぐずしないで山へ彼女を連れて行きなさい、そうすれば君の服従に報いる事が出来るであろう。

急いで下さい、行きなさい、ぐずぐずしないで、そうすれば君の服従は報われるだろう。

ヨンテーク

お慈悲を、おゝご主人様、私はあなたのお心に、哀れでみじめな孤児の為に話申し

Destin fatal l'ha condannata ad ogni
crudo stento, ad ogni duol!

Jontek

Pietà signor, per lei pietà, signor vi
parli al cor.

Gianni

Oh, mio furor, lo sdegno io so frenar
appena!

Jontek

umilmente, in tono di celata ironia

Oh, posa Iddio che legge in ogni cor,
premiarvi qual mertate, o nostro buon
signore, ricompensarvi, o nostro buon
signor.

Iddio saprà, che solo legge in ogni core.
Di lei pietà!

Gianni

Schernisce ancor!

T'affida a me, e l'obbenza tua sarà
ricompensata, t'affida a me.

Scena 5

Detti, Sofia e Alberto

Jontek

Halka per pietà!
Per pietà m'ascolta!

Gemba · Coro (T. B)

Qual fanciulla è questa, che turbar
osò la festa in tal dì, in tal dì distur-
bar la festa.

Gianni · Sofia

Perchè mai, perchè mai? Si turbò la
festa?

Alberto

Or chi ardisce in tal dì, disturbar in

上げます。

宿命的な運命は、ハルカにことごとくの苦
しい貧苦とあらゆる苦しみで責めました!

ヨンテーク

ご主人様お慈悲を、彼女の為にお慈悲を、
ご主人様、私はあなたのお心にお話申し上
げます。

ジャンニ

おゝ、私は怒っています、私は立腹をどう
にか抑える事が出来る!

ヨンテーク

つつましく、皮肉をかくした声で

おゝ、神は誰もの心のみ抜く事が出来るの
です。神はどの様な功労にでも、あなたに
報いる事が出来ます、私達のやさしいご主
人様、あなたに神は報いる事が出来るので
す、おゝ私達のやさしいご主人様。
神丈が誰もの心のみ抜く事が出来るのです。
彼女をお助け下さい!

ジャンニ

まだバカにするのか!
私を信じてくれ、あなたの服従に報いるだ
ろう、私を信じて下さい。

第5場

前に述べた人達、ソフィアとアルベルト

ヨンテーク

ハルカ、お願いします!
お願いします、私(の言う事)を聞いて下
さい!

ジェンバ 合唱(テノール・バス)

この人はどんな女性だろう、この様な祭り
の日にあえてじゃまするのは、祭りの日
をかき乱すのは。

ジャンニ・ソフィア

一体どうして、一体どうしたのか?結婚式
がじゃまされたか?

アルベルト

この様な祭りの日にじゃましたり、祭りを

tal di disturbar la festa?

Halka

O Gianni!

Tu la tortora meschina ammalisti, o falconcello.

Cogli artigli poi bel bello, dilaniasti la meschina, dilaniasti o crudele!

Mi trucidò!

Dio! Ahimè!

O Gianni, Gianni, mio signor!

Tu m'hai perduta, o mio signor.

Sofia

Strana fanciulla inver!

a Gianni

Strano evento, Gianni, è questo!

quel suo canto, così mesto, m'empie di terror, sì, quel suo canto m'empie il cor di terror, sì, di terror!

a Halka

Se un asil cercate, su dai fanti andate!

Ti calma alfin! Deh!

Ti calma sventurata, deh, ti calma in te ritorna.

T'allontana, sventurata, io soccorrerti saprò.

Jontek

Halka, partiam, per pietà!

Halka infelice, tu piangi invano.

Di quel vil il core è troppo inumano per aver pietà, pietà di te!

parte

Halka alfin m'ascolta per pietà!

Mi segui vien!

—かき乱すのは誰だ?

ハルカ

おゝジャンニ!

あなたはかわいそうな山鳩を誘惑しました、おゝあなたは鷹です。

しのび足の鳥の足で、あわれな人を引きさいた、引きさいたのです、おゝむごい人!

私をひどい目に合わせた!

神様! あゝひどいです!

おゝジャンニ、ジャンニ、私のご主人!

あなたは私をダメにしてしまった、おゝ私のご主人様。

ソフィア

本当におかしな女性ですね!

ジャンニに

これはおかしな出来事ですね、ジャンニ!

あの彼女の歌はこんなに悲しい、私を恐ろしきで一杯にします、本当にあの彼女の歌は私の心を恐ろしきで本当に恐ろしきで一杯にします!

ハルカに

もし収容所を捜すのなら、歩兵の所へ行きなさい!

静かにして下さい! どうか!

不幸を和らげて下さい、どうか、自分を取り戻して下さい。

速く行って下さい、不幸な人、私はあなたを助ける事が出来るでしょう。

ヨンテーク

ハルカ、出て行きましょう、お願いします!

不幸なハルカ、あなたは泣いてもむだです。

あの卑怯な人の心は、お慈悲を感じる為には余りに非人間的です、あなたにお慈悲を(感じる為には)!

一人はなれて

ハルカ最後に私(の言う事)を聞いて下さい、お願いします!

私についてきなさい!

Calmati, calmati deh, m'ascolta! per
pieta, ti calma alfin.

Gemba

Via!

Via di qua!

I tumulti sono vani.
Su villani, via di quà!
Ma qual (mai) fanciulla è que-
sta!
Che turbar osò la festa.
Or via di quà!
Finchè siete (ancora) sani via di
quà villani!
Se ricetto voi bramate, via di quà,
dai fanti andate.

4

Gianni

A che vien in tal dì?

a Sofia

È demente la meschina!
Di calmarla invan tentai senza posa
sfaga il duol, ignoto duol.

fa un cenno a Gemba

a parte

Jo gelarmi sento in sì fier tormento!

Quel villano del suo ardire.
Degno premio avrà.
Ah! gelar il cor mi sento, in sì or-
ribile cimento.

a Gemba

Tosto ai monti tu la guida, non sfi-
dare il mio furor!

Alberto

Strana fanciulla inver!
Ma qual mai fanciulla è questa, che
turbar osò la festa.

落ち着いて、落ち着いて下さい、どうか、
私（のいう事）を聞いて下さい！ お願い
します、落ちついて下さい。

ジェンバ

行きなさい！

ここから行きなさい！

騒動はむだです。
さあ百姓ども、ここから行きなさい！
しかしこの人は（一体）どんな女性だ
ろう！
祭りをかき乱してじゃまするのは。
今ここから行きなさい！
むちゃくちゃにならない内に、百姓ど
もここから行きなさい！
もしあなた方が収容所がほしいなら、
ここから出て、歩兵の所へ行きなさい。

4

ジャンニ

この様な日に何の目的できたのか？

ソフィアに

かわいそうな人は狂っています！
私は彼女を静めるべく、苦しみをずっとは
き出させる様試みたがむだでした、彼女の
苦しみは誰も知らない。

ジャンニがジェンバに合図する。

自分に

私は本当に重い苦しみの中でゾットしてい
る！

あの百姓（ヨンテーク）は勇気がある。
立派な報酬をあげましょう。
あゝ！ 私の心はこんなに恐ろしい企てに
ゾットします。

ジェンバに

あなたは、はやく山へ彼女を連れて行って
下さい、私の怒りに挑戦しないで！

アルベルト

本当におかしな女性だ！
しかし一体この人はどんな女性なのか、祭
りをかき乱してじゃまするのは。

Strano evento è questo in verità!
Quel suo canto mesto, m'empie l'anima
di pietà.

Sì! l'anima di pietà.

Se asilo voi bramate, via, di quà, dai
fanti andante.

Basti alfin, dai fanti andate, via vil-
lani, via di quà!

Coro (T. B)

Basta, orsù, villani, andate via di quà,
sì via di qua!

repeat④

本当にこれはおかしな出来事だ!

あの彼女の悲しい歌は、私の魂をあわれみ
で一杯にする。

本当に! あわれみの魂(で一杯だ)。

もしあなたが収容所がほしいのなら、こ
こから出て、歩兵の所へ行きなさい。

もう止めて下さい、歩兵の所へ行きな
さい、百姓どもここから行きなさい!

合唱(テノール・バス)

やめなさい、さあ、百姓ども、ここから出
て行きなさい、本当に行きなさい!

—くり返し④

II幕終り

第III幕、IV幕は次号へ掲載します。